

競美化教育最優秀校4校決定

文部科学大臣賞

秋田県立 大曲南中学校
おおまがりみなみ

地域清掃が

世界の人人々に笑顔もたらす



グローバルな視点から地域の公園の清掃活動を行う

田畑が広がる豊かな環境の下、20年以上にわたり地域に根差した活動を行っている。その一つがアルミ缶・古紙回収。生徒が事前に手づくりしたチラシを各戸に配布し、当

これはの美化活動がベースとなり、ユネスコスクールに認定されてからは、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点を重視。「食育」「エネルギー」「教育」「国際教育」をテーマに、活動が深化している。

食育では、給食残さずで作った肥料を使って野菜栽培する過程で、地域の主産業が農業であることを再認識した。さらに、環境問題を扱った講演会を開催し、世界を舞台に活躍する講師が現状を報告。その生の声を生かそうと、生徒は他国で起きている問題を自分事として捉えるようになった。佐藤美音（みね）（中3）は、「国際社会の一員として、グローバルな視点から物事を実践していくことの大切さを、多くの人に発信していきたい」と抱負を語る。

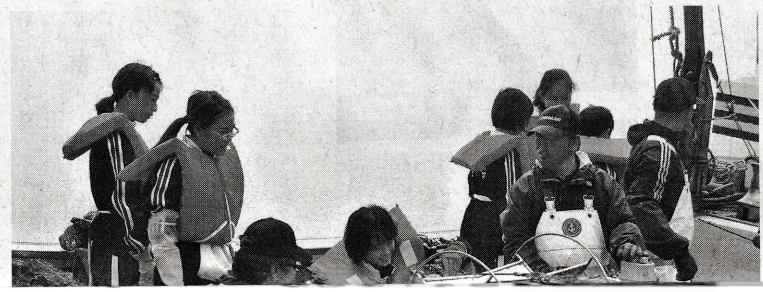
「Think Globally, Act Locally」の精神が胸に刻まれている。

農林水産大臣賞

青森県立 蓬田中学校
よもぎた

漁業体験を通

海の



海と山に囲まれた豊かな自然をのぞむ同校では、その環境や地場産業を生かした活動を行っている。毎年、海開きの前に取り組むのが地域の名所、「玉松海水浴場」と「玉

清涼飲料やビールなどの飲料業界6団体で構成する「公益社団法人食器器環境美化協会（略称・食環協、那須俊一（しん）会長）が、地域とともに美化活動を行う小・中学校等を支援し、よつと開始した環境美化教育優良校等表彰事業。



身近な美化活動機に